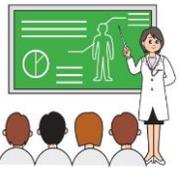
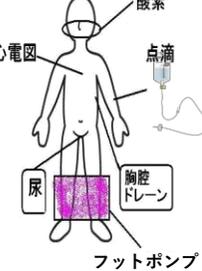


「肺・縦隔・胸壁疾患手術パス」

患者さんには、クリニカルパスに基づいた医療をおこないます。

説明年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

	入院日 (月 日)	手術前日 (月 日)	手術当日(手術前) (月 日)	手術当日(手術後) (月 日)	手術1日目 (月 日)	手術2日目～5日目 (月 日 ～ 月 日)	手術6日目：退院前日 (月 日)	手術7日目：退院日 (月 日)
	食事	普通食 	普通食 	食事と水分を飲むことができる時間は 麻酔科医の指示があります 	食事を開始します 	普通食 	普通食	
運動	制限はありません 		手術後はベッド上で安静 に過ごします 		歩行できます 	制限はありません 		
点滴			手術時間によっては、 手術前に点滴があります 	点滴があります 				
入浴	入浴できます 	入浴を してください 	入浴できません 	体を拭き 着替えます 		・胸の管が入っている間は、下半身のみシャワー浴ができます ・管が抜けた2日後から、全身のシャワー浴ができます 		
内服	薬剤師が、持参薬の確認を します 	通常通りのお薬を お飲みください 	朝、医師の指示があつた 薬のみお飲みください 	術後痛み止めなどの お薬が開始されます 		術後に処方されたお薬をお飲みください 		
処置	・身長、体重測定 ・呼吸練習(3回) (看護師が説明に伺います)		・血栓予防のため、弾性 ストッキングを履きます	・血栓予防のため、両足に 機械を付けます (フットポンプ)	・傷の消毒をします ・尿の管を抜きます	・傷の状態に応じて 処置をします	・傷に貼っているフィルムをはがします 	
検査	 ・採血・レントゲン・心電図 ・肺機能検査				 ・採血・胸のレントゲン	・胸のレントゲン ・採血(必要時) (検査を行う時は、前日に お知らせします)	 ・採血・胸のレントゲン	
説明	【看護師】 ・患者識別バンドを装着 ・入院生活について説明 ・入院までの生活情報をお聞きます ・手術の準備について説明をします 	 ・麻酔科医師が診察し、 麻酔同意書を渡します ・手術開始時間が決まります ＜手術に必要な物品＞ ・コップ、ストロー、または 吸い飲み、T字帯 ・トライボールは医師に 確認後、購入して頂く ことがあります	 ・朝、手術着に着替え、 時間になったら手術室へ 看護師と一緒に移動 します ・手術が終わったら、医師 から説明があります	・痛い時には、痛み止めが 使えますので、遠慮せず にお知らせください 《手術後イメージ》  酸素 点滴 心電図 胸腔ドレーン 尿 フットポンプ	・早期回復のために、歩く ようにしましょう ・手術後、初めて歩く時 は、看護師が付き添いま す 	・レントゲンで肺の膨らみが 十分と医師が判断したら 鉗子で胸の管を止め、 吸引の器械ははずれます ・翌日のレントゲンで肺の 縮みがなければ、管が抜 けます もし、呼吸が苦しなっ たら、すぐにお知らせくだ さい  痛みは手術後2日目ぐらいをピークとして 徐々に軽減してきます。 また、管が抜けたとかなり楽になりますが、 手術の操作で肋骨周囲の神経に触れる 影響でピリピリとした脇腹への続く場合が あります。 湿布や暖めることで緩和できますが、 痛みが続くこともありますので ご理解ください。	・管が抜けたら、傷と 管が抜けたところの 洗いを看護師が 説明します 《退院後の注意点》 ・痛みが急激に強くなったり、発熱・息苦しさを 感じたり、傷口に異常があるときは、次の 外来日前でも受診をしましょう ・外来日前に旅行や激しい運動を考えている 方は、医師に相談しましょう ・禁煙は、退院後も続けましょう。飲酒も 次の外来日までには控えましょう ・風邪予防のために、手洗い・うがいを 心がけましょう ・内服薬は用量・用法を守りましょう ・次回外来日まで、入浴はせずシャワー浴 をしましょう。可能な限り、毎日傷口を 洗いましょう	
	・手術について医師からお話があります ・手術の同意書にサインを頂きます				・ICUに入室される方は、 お昼前に病室に帰ります ので、歩行開始は多少 異なります			

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度個別にご説明致します。